

がんばる！ にちなんびと

一般財団法人 佐武会

プロフィール

- 昭和32年 佐武林蔵氏の「故郷に記念になることをしたい」との思いから「佐武奨学会」が設立される。
- 昭和33年 奨学金制度が開始される
- 昭和41年 「財団法人佐武会」に改組
佐竹奨学会の拡充強化と佐武記念館（昭和41年開館、佐武氏生家山形家跡）の運営による地方の教育美術文化の向上などを目的とする。
- 昭和61年 日野郡美術教育振興会からの要望で、郡内小学生を対象に「佐武賞」の授賞を始める。
- 平成 8年 日南町美術館に佐武記念館所蔵の美術品を寄託。
- 平成25年 一般財団法人に移行。
- 平成30年 佐武林蔵氏50回忌法要を行う（玉泉寺）
- 令和元年 佐武記念館を老朽化のため取り壊し、跡地に佐武氏の記念碑を建立
- 令和 2年 佐武会の記念誌を発行。3月31日をもって、一般財団法人佐武会を解散する。



佐武会が3月31日で 解散されることになった

佐武会の役目の一つが、奨学金制度です。近年の少子化や奨学金の選択肢が増えたことにより、借りるかたが減少したこと。また超低金利政策により、収入源である利息収益が減少し、会の運営自体も難しくなり、佐武会としての役目を終えたのではないかと解散することになりました。

60年以上に亘り会を継続してこられた

佐武林蔵先生が、昭和 32 年に「故郷に記念になることがしたい。」との思いから基金寄贈により、佐武会は設立されました。その後、昭和 41 年に美術品と資金の追加支援を受け、運営を行ってきました。会が発足して以降、「福栄の財産である」との思いで歴代の理事長や役員の方々が会を運営してこられました。この思いがあればこそ、ここまで永く会を続けることができたと思っています。

長年「佐武賞」の授賞も続けてこられた

この度、会を解散することになりましたが、佐武賞は継続をしていって欲しいと思っています。今回の解散にあたり、美術品などの財産は町や美術館に寄贈することになっています。これまで、佐武賞の副賞は会で用意してきました、その経費にも使っていただきたいと思います。

美術品などを町に寄贈される

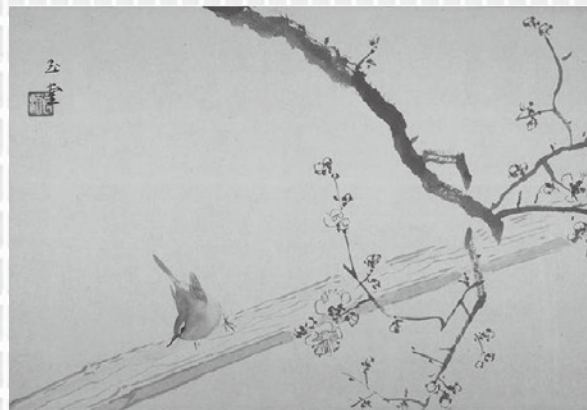
美術品は、平成8年に美術館に寄託していましたが、解散に伴い寄贈することになりました。佐武林蔵コレクションとして、美術館に時折展示されています。佐武先生より、教育美術文化の振興のためと寄贈いただいたものです。是非、町内外多くの方にご覧いただければと思います。

解散にあたり、記念碑の 建立と記念誌の発行をされる

記念碑と記念誌は、佐武林蔵先生の功績が後世まで残って欲しいと思い作成しました。記念碑は、佐武先生の生家にあった記念館の跡地に建立しました。また、そこにサクラクレパスにちなんで、しだれ桜の植樹も行います。その桜の木に愛称をつけて記念碑とともに親しまれてくれればと思っています。

佐武会の思いをどう つないでほしい

佐武林蔵先生が亡くなられてから50年以上が経ちました。時が流れ「サクラクレパス」を開発した佐武先生が日南町の出身であることが、皆さんの記憶から薄れているところもあるかと思います。今回、記念碑ができましたし、そういう素晴らしい功績を残した偉人がいるということを記憶に止めて欲しいと思いますし、誇ってもらいたいと思っています。



佐武コレクション：河合玉堂《初音》1946年
着色・紙 29.0×42.5 cm

